



たのめら

編集・発行 対田町青少年育成町民会議 ☎093・434・9838



▲ 森の学校作業風景

11月14日（日）、役場前駐車場スタート。ゴールで、対田町子ども会育成連合会主催のスタンプラリーが行われ、町民会議が参加者に参加賞として「木工工作キット」を配付しました。

例年は子どもフェスティバルの一環として、木工教室を開いてきましたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、昨年に続き、屋内のフェスティバル自体が中止となり、スタンプラリーを開催することになりました。

スタンプラリーは対田町商店街などを中心に回り、対田山笠の格納庫も見学できるコースです。子ども会の田口会長は「各ポイントでは温かいおもてなしをいただき、商店街に子どもたちの姿が多く見られていいね、などと声をかけていただきました」と話していました。

町民会議が配付した工作キットは、障がいを持つた方が自立をめざす施設であるNPO法人・森の学校（豊前市）の皆さんが制作してくれたものです。クリスマスツリーや羽子板、来年の干支である虎など八種類の作品から好きなものを選んでもらいました。

スタンプラリーで 木工工作キットを配布



遠藤美季プロフィール

エンジェルズアイズ主宰。情報教育アドバイザー・ネット依存アドバイザー。著書に『脱ネット・スマホ中毒』(誠文堂新光社)、『子どものネット依存一小学生からの予防と対策』(かもがわ出版)など多数。

特別寄稿

何を得て、何を失うのか、考
える時間を作る

エンジェルズアイズ 代表 遠 藤 美 季

今、環境問題と人類の存続に注目が集まっています。私たちが暮らす快適な社会を築くために、人間は地球の環境に取り返しのつかない深い傷を与えてきました。そのことに気づき警鐘を鳴らす人がいてもほとんどの人は長年気にすることはないでした。

人は何かを失いつつあっても、目先のことには夢中であればあるほど気づかないものです。また気づいても自分にとつての損得を計算し、時に気づかないふりをしがちです。数十年後に起きるだろう負の影響を予測して行動をするのはとても難しいことなのです。

いずれ、インターネットやテクノロジーを負の種としないために

私たちができることとは?

コロナ禍の影響で昨年は一部の講演が中止、もしくはリモートでの実施になりました。学ぶ機会がゼロになるよりはリモートでも実施するほうが良いと思うのですが、ただ当然のことながら対面と非対面では集中力や印象など、全く違います。互いに画面をみていても実際目が合っているのではなく、場の空気を感じたり共有することもできません。講演終了後、退室ボタンと共に真っ暗な画面に切り替わった瞬間違和感を感じることもあります。移動時間も有意義だった私にとつては非対面の講演は残念もあり、しかし老いていく身にとつては移動の疲れがな

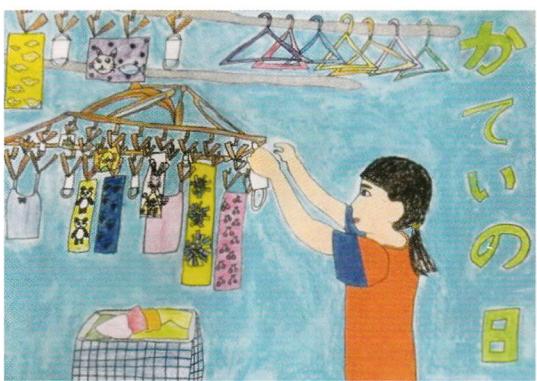
いのは楽もあり、一長一短と感じています。子どもたちの生活は変わりました。GIGAスクールが前倒しになりました、小中学生はタブレットを使い学習を始めています。リモート飲み会とスマホ一つあれば、家にいながらも他人とのコミュニケーションはいつでも可能だと実感した人は多いでしょう。しかし効率的にこのスタイルに馴染む前に私たちは改めていろいろなことを考えなければならないと思うのです。この生活で私たちは何を得て、何を失う可能性があるのか。

(DMN)が無くなり、本来その間活発になっていた脳の重要な活動が妨げられてしまうという人間にとっての危機的状況も起きていました。通知に抗えない人間の性もありますが、それほどの犠牲を強いても絶え間なく仕入れる情報は自分にとって必要なのでしょうか。『知るべき真実』にはアクセスせず、『自分が知りたい情報』に囲まれて日々過ごしているという人が増加するのも心配です。

近年、同じ家にいながらも家族がそれぞれ自分の趣味や娯楽をスマホやタブレットで楽しむ世帯内個人志向が強まっています。いわゆる『背中合わせの家族』は居間にいても違うコミュニケーションに属していく何をしているのか互いに関心がないといいます。

この状況では誰といても、どこにいても、常にスマホを見ることが習慣化してもおかしくはないでしょう。その習慣はすき間時間も埋めています。すき間時間にぼんやりすること

※遠藤美季さんには、令和二年三月に講演会をお願いしておりましたが、新型コロナウイルス感染対策のため延期しました。現在も、オミクロン株の発生等、大規模な講演会を行える環境にありませんので、今回、特別寄稿をお願いしたところです。



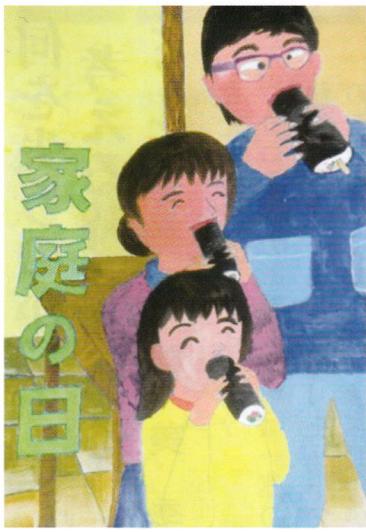
白川小2年 井中ももかさん



馬場小6年 古川未憂奈さん

オアシス
井中さん、石川さん、古川さんが

優秀賞受賞



馬場小4年 石川知冴さん

集した令和3年度「家庭の日」「オアシス運動」作品の入賞者が11月15日に発表され、苅田町から次の方々が入賞しました。（敬称略）

福岡県青少年育成県民会議が募集中止が決定され、ビデオ審査に切り替えました。大会参加予定だつた中学生は各学校で動画を収録し、集まつた動画を審査員が一堂に会して審査することになりました。

※優秀作品は、令和4年1月24日から1月30日まで、アクロス福岡2階・メッセージホワイエ（福岡市中央区天神1-1-1）で展示されます。（午前10時～午後6時まで 最終日は午後4時まで）

少年の主張苅田町開催 コロナのため中止に

ビデオ審査で井上さんが奨励賞

昨年、厳しい入場制限の中、第42回大会がサザンクス筑後で開かれましたが、最後に次年度開催地の苅田町代表が挨拶したとき、多くの人は思つたはずです。——来年はきっと、観客を入れた大会が開かれるだろう、と。

しかし、新型コロナウイルスの猛威は想像を超えていました：。

第43回大会は、9月5日に苅田町中央公民館で行われることになりました。

このため、8月3日、苅田町での大会中止が決定され、ビデオ審査に切り替えました。大会参加予定だつた中学生は各学校で動画を収録し、集まつた動画を審査員が一堂に会して審査することになりました。

このため、8月3日、苅田町での大会中止が決定され、ビデオ審査に切り替えました。大会参加予定だつた中学生は各学校で動画を収録し、集まつた動画を審査員が一堂に会して審査することになりました。

審査の結果、18人の県大会選出者が決まりました。ところが、収まるかに見えた新型コロナウイルスが7月になつて猛威を振るうようになり、福岡県の感染者数が500人を超えるまでになりました。

審査の結果、福岡県知事賞には田主丸中学校（久留米市）の山岡由愛さんが選ばれ、苅田町からは新津中学校の井上心汰さんが優秀賞に選ばれました。

少年の主張

少年の主張福岡県大会奨励賞受賞

「いじめ」から助けられないか

新津中学3年 井 上 心 池



あなたには、誰か一人でも自分を支えてくれる友達と呼べる人がいますか。また、その人は自分の困っている事や不安に気づいて、助けてくれますか。

ニュースや新聞を見ていると「いじめによって学生が自殺した」という話をたびたび耳にします。いじめによって亡くなってしまうのは、なぜなのでしょう。また、いじめられている人達をなぜ助けられないのでしょうか。

インターネット上では、現実のいじめ以上に悪質なのではないかと思いません。顔が見えない分、強気になつて、ひどいことを書き込む人が多いのではないかと想う。

僕は、小学生の頃によくいじめられていきました。小さい頃から気が弱かつたので、その人達にとつてはいじめやすかつたのだと思います。いじめはひどい場合は暴力をふるわることもあるようですが、僕はそこまではありませんでした。しかし、言葉で責められて「やめて。」と言つても余計にふざけられて、自分一人の力はどうにもならず苦しかったです。しかも、担任の先生に言つて対処してもらつても逆効果で、次の日にま

たいじめられました。また、母が先生に相談してくれたこともあります。しかし、そもそも先生にきちんと対応してもらえなかつたり、対応してもらつてもそこまで厳しくその子を叱つてくれなかつたりで、そのうち、先生に言つても意味がない、逆効果だと思うようになります。いじめはその後も続いた。いじめは学校に行きたくないと、だんだん思うようになつていきました。ですが、そんな時に友達が声をかけてくれました。僕がいじめられているのを知つてからはずかは分かりませんが、いじめには触れずに普通に接してくれました。友達が元気づけてくれたから、その後は学校へ楽しく行けるようになりました。

だから僕は、いじめられている人を見つけたら、誰でもいいので声をかけてほしいと思います。いじめられている人は、誰も味方になつてくれず一人なのが苦しいと思います。

だから僕は、いじめられている人へと広まつていき、やがて差別へとつながつていきます。だから、いじめを失くしていくためには、子どもだけではなく大人にも、もう一度よく考えてほしいと思います。そして、もし近くにそういう苦しんでいる人がいるのなら、声をかけて、助けてあげてもらいたいです。

「いじめ」という言葉を聞くと、味がない、逆効果だと思うように思います。

また、SNSでのいじめについては、学校でネットリテラシーなどを学べる授業をもつと増やすと良い対策になるのではないかと思います。

「いじめ」

という言葉を聞くと、

どうしても子ども同士だけの問題のように感じてしますが、大人にも関係していると思います。国籍や人種・職場・ジェンダーなどにおける差別と変わりありません。いじめは犯罪なのです。僕は、いじめは個人や学校だけの問題ではないと思います。

いじめは人を傷つけ、自殺まで追い込んでしまう、決して許されない行為です。今はたつた一人をいじめていても、それが人から

※ 「令和3年度少年の主張福岡県大会発表文集」より転載



世界の人口は78億人で、日本人は1億2千万人、そのうち苅田町には3万7千人いますが、実は「世界レベルの社会契約」に皆さん一人ひとりも関わっているのをご存じですか？

世界の国々の数は96か国、国際連合の加盟国数は日本を含め193

か国ですが、全ての国連加盟国が約束した取り組みが現在行われているので、簡単に紹介したいと思います。

SDGsです。日本語では持続可能な開発目標と訳されています。

地球に住む誰もが幸せを感じられるような豊かな世界にしていくことが、SDGsの最大の目的で、先進国から途上国まで、経済・環境・社会の諸課題を包括的に扱い、2030年までにあらゆる形態の貧困に終止符を打つという非常に壮大な国際目標で、17のゴールと169のターゲットから構成され、「地球上の誰一人取り残さない」ことを誓っています。もちろん、あなたも。

「2030年までに達成すべき17の目標」は、具体的には「貧困をなくす」「飢餓をゼロに」「全ての人に健康と福祉を」といった社会全体の内容もありますが、「つくる責任、つかう責任」「海の豊かさを守ろう」といった、日頃から

SDGs

2030年、あなたは何歳ですか？

町民会議副会長 門富 嶽

皆さん、自然に取り組んでいる内容もあります。では、どんなことでしょうか？

節水に気を配つたり、雨水を使つて畑に散水したり、お風呂の水を洗濯に利用していますよね。

公園にきれいな花壇を整備して、住みよい町づくりを心がけている取り組みもありますね。

多くの皆さんにご協力いただき、「手作りマスク」も、リサイクルや資源の再利用も全て当てはまります。

SDGsの実践に唯一の「正解」はありません。考える人の数が多いほど「答え」が生まれてきます。

決して難しいことを新しく始めることではなく、老若男女問わず、ひとりひとりが「意識」することが第一歩なのです。

2030年、あなたは何歳ですか？今から一緒に、それぞれが出来ることから、あるいは日頃からやっていることを続けながら、17のゴールに向かって知恵を絞り、アイデアを出して、実践していくませんか？

あなたもメンバーの一人です。

町民会議もSDGsへ積極的に取り組んでまいりたいと思います。

10月24日、中央公民館で、役員15名により、SDGsの学習会を開きました。町民会議もコロナ禍で活動の中止・縮小が相次ぎましたが、今後もウイズコロナの観点から、今までとは違った活動が求められています。来年度以降、新たな活動計画を立てるにあたり、SDGsの考えを取り入れる必要があり、学習会を実施しました。



役員がSDGsの学習会



ウイズ
コロナ

ソーシャルディスタンスは

思いやりの距離

苅田小学校校長 宮 城 強

コロナ禍のなか、二回目の冬を迎えました。新型コロナウイルスを撲滅することは現段階では難しいことと考えます。ならば、私たちはこれから先もコロナウイルスと一緒に生きていかなければなりません。そのためには今までと違う生活様式をしていくことが必要となります。

一年以上、学校では毎日のよう に「ソーシャルディスタンスを守るために、離れよう！」と声かけを行なつてきました。「人と離れる」ことは、相手の人を嫌いなど す

きや怖いとき、近寄りたくないときなどが多いのではないでしょ うか。離れられた人も「あつ、私 のことを避けた、よく思われてい ないな」などと心配になつたりし ますよね。

しかし、よく考えてみると、ソーサ リルディスタンスの離れ方は違 います。

ソーシャルディスタンスは日本 語で「社会的距離」といいます。 「社会的」というのは、社会の多 くの人たちと気持ちよく生きてい くということです。そのように考 えると社会的距離というのは、社 会のみんなが安心して生きていく ために保つ距離ということになり ます。

ソーシャルディスタンスは相手 に対する思いやりと一緒に使う言 葉でなければなりません。この言 葉には「あなたのことが大事だか ら離れています」という、やさし

い気持ちが込められていると私は 考えています。あなたが、周りの みんなが好きで大切だから離れ るのです。互いに大事に思い合い、 目に見えないコロナウイルスを広 げないよう、安全に暮らせるよう、 ソーシャルディスタンスをとるの です。「間隔をとつて互いの距離 を意識しよう」と相手が離れたら、 「ありがとうございます」と応える気持ちが 大事だと思います。自分のことだけ でなく、相手のことを思いやる、 そんな人々があふれている世の中 にしていきたいですね。

「近づくな、離れろ」相手の考 えや都合を考えずに追い払う行為 はソーシャルディスタンスではあ りません。同じ言葉でも、気持ち の込め方や伝え方でやさしい行動 となり、よりよい社会になると私 は信じます。よい社会をつくるの も、ひどい社会をつくるのも私た ち自身です。

学校は、子どもたちにそれを考 えさせ、練習させる場所です。友 だちや先生たちと安全に過ごし、 気持ちのよい言葉を使いながら、 すてきな学校をつくるつていくの は、教職員を含めた子どもたち自 身だからです。

それが、誰もが安心できる社会 をつくる第一歩です。

入院す かくも家族が 遠かりき 友に会う そんなことにも感動し 編集後記

ワイドショ― コロナ博士が やたら増え

右は、神田町の松本恵美子さ んがお寄せくださった川柳で す。全く同感ですね。

今年は八月、九月でデルタ株

が感染爆発し、少年の主張福岡 県大会の苅田町開催を吹き飛ば しました。十月以降は感染者数 も激減し、収束に向かうのでは という期待もありましたが、今 度はオミクロン株の出現です。 しかし、ピンチは新たなチャンス を胎動していると信じてい ます。町民会議でも、活動の在り方を根本的に精査する機会と 捉え、これから活動に活かす ためにSDGsの学習会を始め たところです。

最後に、松本さんの川柳をも う一つ。

コロナ禍を昔話にしたいよね

学校紹介

新津中学校

確かな学力・豊かな人間性の育成
『一人一人の学びを大切にする学校、
「行きたい、行かせたい」と言われる学校』

学級数	15学級(特別支援学級3学級)
生徒数	1年 132名 4学級
	2年 143名 4学級
	3年 139名 4学級
全校	414名
校訓	自律・礼儀・健康

- Ⓐ いさつが響き合う
- Ⓑ すとまで目標に向かって伸び合う
- Ⓒ たえる気持ちを認め合い支え合う



【学校教育目標】

「将来を生き抜く力」を培い、よりよい社会の実現に参画できる生徒の育成

【育成をめざす資質・能力】 言語能力、問題発見・解決能力、情報活用能力、自己理解・自己管理能力、多様な他者と協働する力
【重点目標】 自ら考え、行動し、自他のよさや違いを認め、仲間と協働する生徒の育成

【めざす生徒の姿】

- 自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え表現し、適切に判断して行動する生徒
- Chromebook等ICTを活用した学習に意欲的に取り組もうとする生徒
- 夢や目標を持ち、見通しをもって粘り強く取り組み、自己実現を図ろうとする生徒
- 自らの命を守り、多様性を理解し他者への思いやりをもつことができる生徒
- よりよい人間関係を築き、地域や社会のために尽くそうとする生徒
- 心身ともに健康でたくましく、自己をコントロールしながら、社会の変化にしなやかに対応できる生徒



【めざす学校の姿】

- 挨拶が響き合い、落ち着いた学習環境の中で、生徒が安心して学べる学校
- 自他の命を尊重し、互いのよさや違いを認め合う心を育む学校
- 組織的・協働的に教育課題の解決に取り組む学校
- 社会の変動や要請に対応し、未来志向で変革をめざす学校
- 保護者や地域と連携し、協働する学校



【めざす教師の姿】

- 礼節をわきまえ、心身ともに健康な教師
- 職能成長の意欲をもち、情熱や使命感にあふれ、協調性のある教師
- 深い生徒理解に基づいて、生徒一人一人のよさを引き出し、可能性を伸ばす教師
- 主体的に研修に励み、実践的指導力の向上をめざし、ICTを活用した授業力が身についた教師
- 教育公務員としての職責を自覚し、生徒や保護者、地域から信頼される教師



本年度の重点

- ◆自分の考えを理由や根拠をもとに筋道を立てて説明できる生徒の育成 【言語能力、情報活用能力】
《思考力・判断力・表現力を育成する授業ができる教員・生徒 70%以上》
- ◆命を大切にし、自分も人も大切にする心を持つ(互いの良さや違いを認め合う)生徒の育成 【人間関係形成能力】
《いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う生徒 100%》
《わが子は、学校生活でやさしさや思いやりの心を育んでいる保護者 70%以上》
《生徒には自分や仲間を大切にする豊かな心が育っている教員 70%以上》
- ◆メディアセルフコントロール力を身につけ、自主学習(予習・復習)に取り組む生徒の育成 【自己管理能力】
《毎日、自主学習(予習・復習)をしている生徒・保護者・教員 70%以上》
《毎日、決まった時刻に寝ることができている生徒・保護者 70%以上》
《けじめのある生活(テレビ・ゲームの時間を守る)をしている保護者 70%以上》
- ◆読書活動で、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かにする生徒の育成 【言語能力、問題発見・解決能力、自己理解力】
《生徒は積極的に読書活動に取り組んでいると思う教員 70%以上》
《読書は好きと回答する生徒 70%以上》《1日30分以上読書をする生徒 50%》



具体的方策

- 筋道を立てて考えたことや判断の根拠を過不足なく示して説明する場面のある授業。
- ChromeBook等ICTを活用した授業の実践。UDの視点を取り入れた授業継続。
- 自他の気持ちを伝え受け止め、よりよい人間関係づくりの力を育む。「月一作文」と「1分間スピーチ」の取組を全校で実践。
- 「生命の尊さ」「温かい心、思いやり、親切」「相互理解、寛容」を重点内容とした道徳科の授業の充実。
- 「かんだっ子学習リーフレット」を活用。家庭学習(宿題・自主学習)の質・量を充実。
- 定期考查前に「メディアコントロール週間」を設定し、ゲーム・スマート・ユーチューブ等の利用時間を守る取組の推進。
- 子ども読書の日の読み聞かせ・図書館まつりの取組や朝読書の時間等の充実。